



最強！

七もつズネい屋

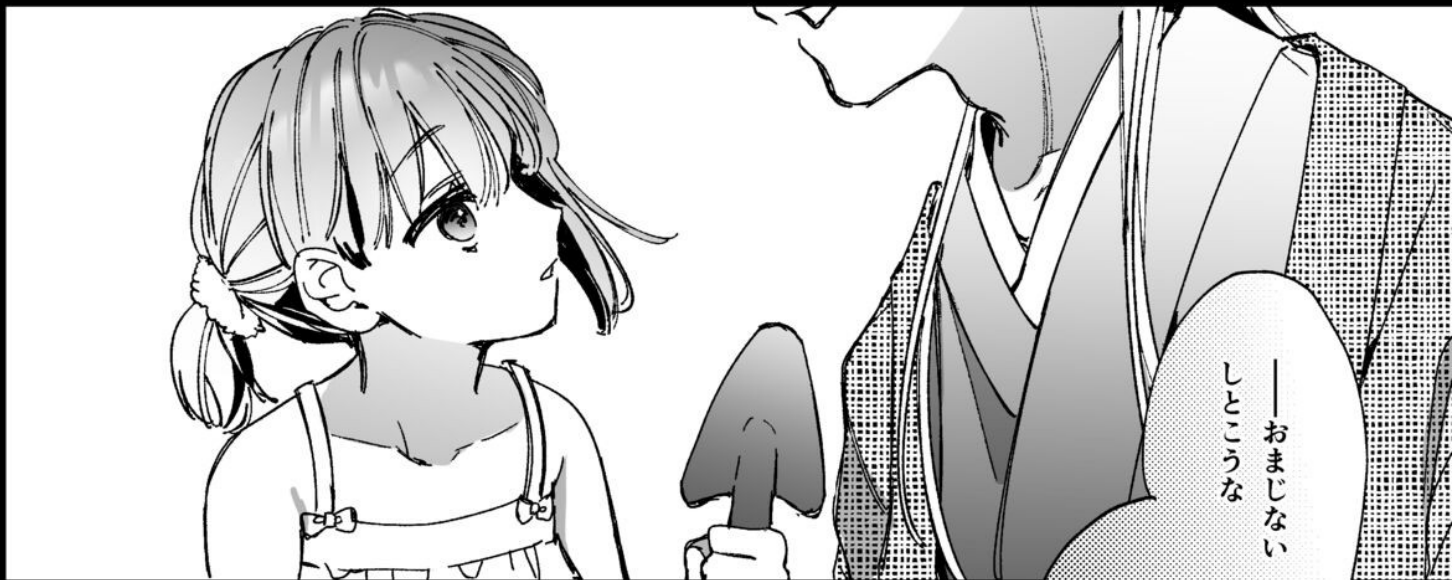
蓮くん

抱き潰される

まで

Saikyou  
Himokuzu haraiya  
Renkun ni  
Dakitsubusareru made

オナホが  
勝手に









すっかり  
私にもそういうのが  
見えるように  
なってしまった



ワッ  
ワッ  
%

つまり  
憑いてる人(?)も  
自覚できる  
ということだ



見えるように  
なって初めて



ありがとう…

ハッ…  
なんか最近  
やけに多いな











蓮くん  
流されちゃう  
んだよねあ…

わ  
~~~~~

懐かしい！

昔この辺に  
住んでたんだよ

よくこの  
公園で  
遊んでた！

ほとんど  
あの頃と  
変わってないな

私の両親  
仕事が忙しくて  
帰りが遅かったから











でも私は絶対に  
蓮くんのこと  
好きになってた  
気がするなあ



もしかして  
そのブランコ  
のお嬢ちゃん

千代ちゃん  
やない？

？



帰ったら  
からあげ  
作ろうね

味を近付けられる  
自信はないけど…

あれ？



えっ……



やっぱり  
そうやん！

久しぶり  
やな



あの……  
すみません……

どちら様  
でしょうか……



ごめんなさい  
全然覚えて  
なくて……

は、時の流れは  
残酷やねえ……



こんな男の子と  
遊んだ記憶なんて  
ないんだけど……

えーっと……



ボクたち  
昔一緒にこの  
公園で遊んだ仲  
やないの？

ええ!?







どうせまた  
すぐ会うこと  
になるやろう  
けど

コイツ...

またね



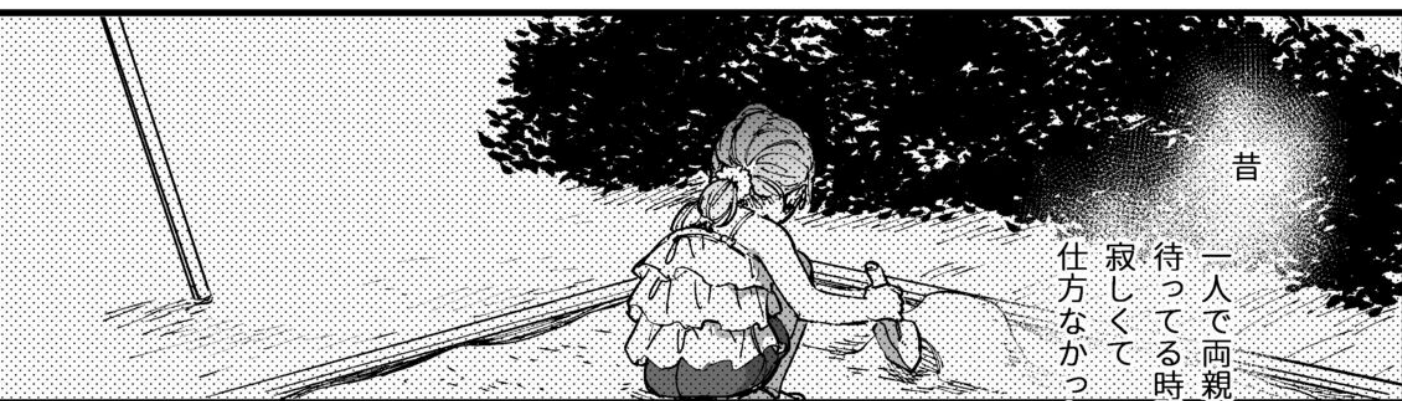








その優しさに  
甘えてしまっている



昔

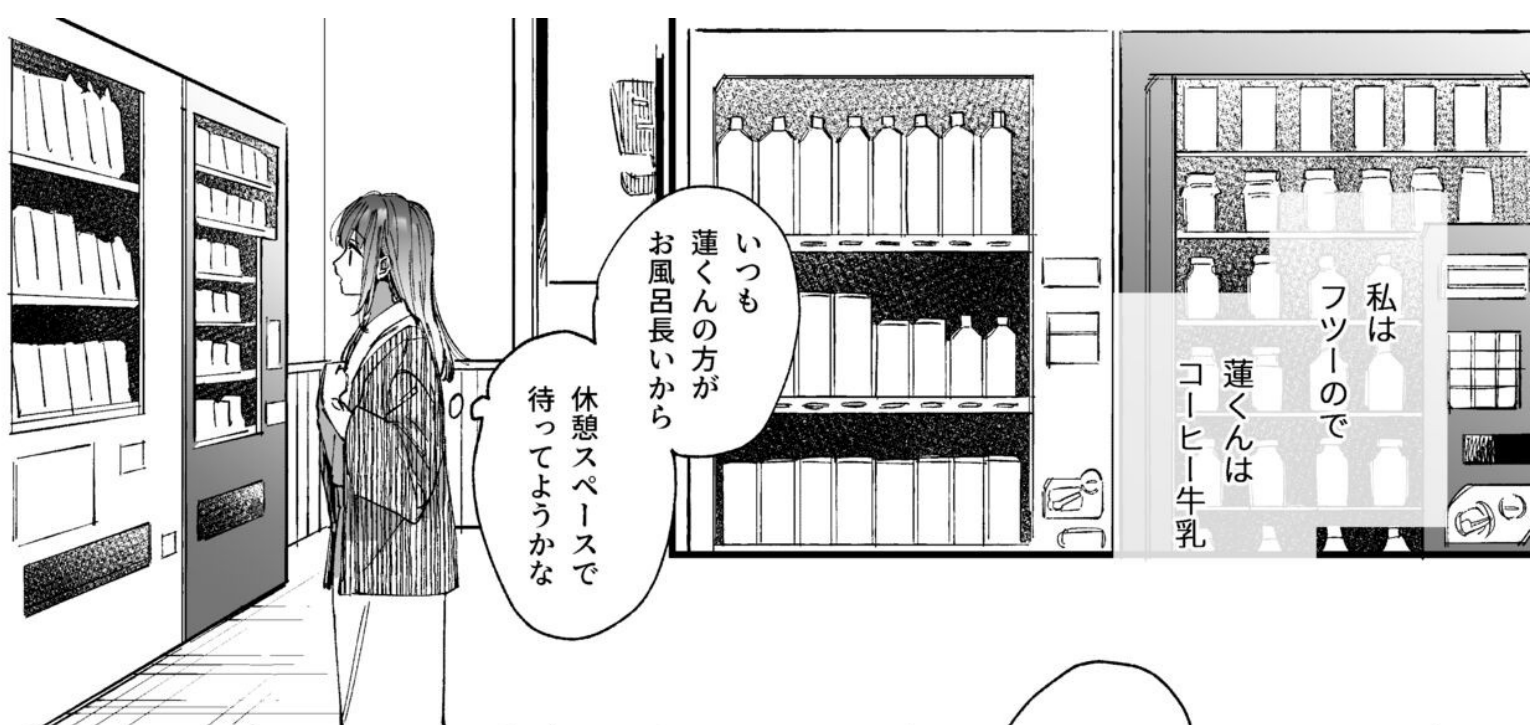
一人で両親を  
待ってる時間は  
寂しくて  
仕方なかった



今は運くんが  
いるから  
全然寂しくない

男

女



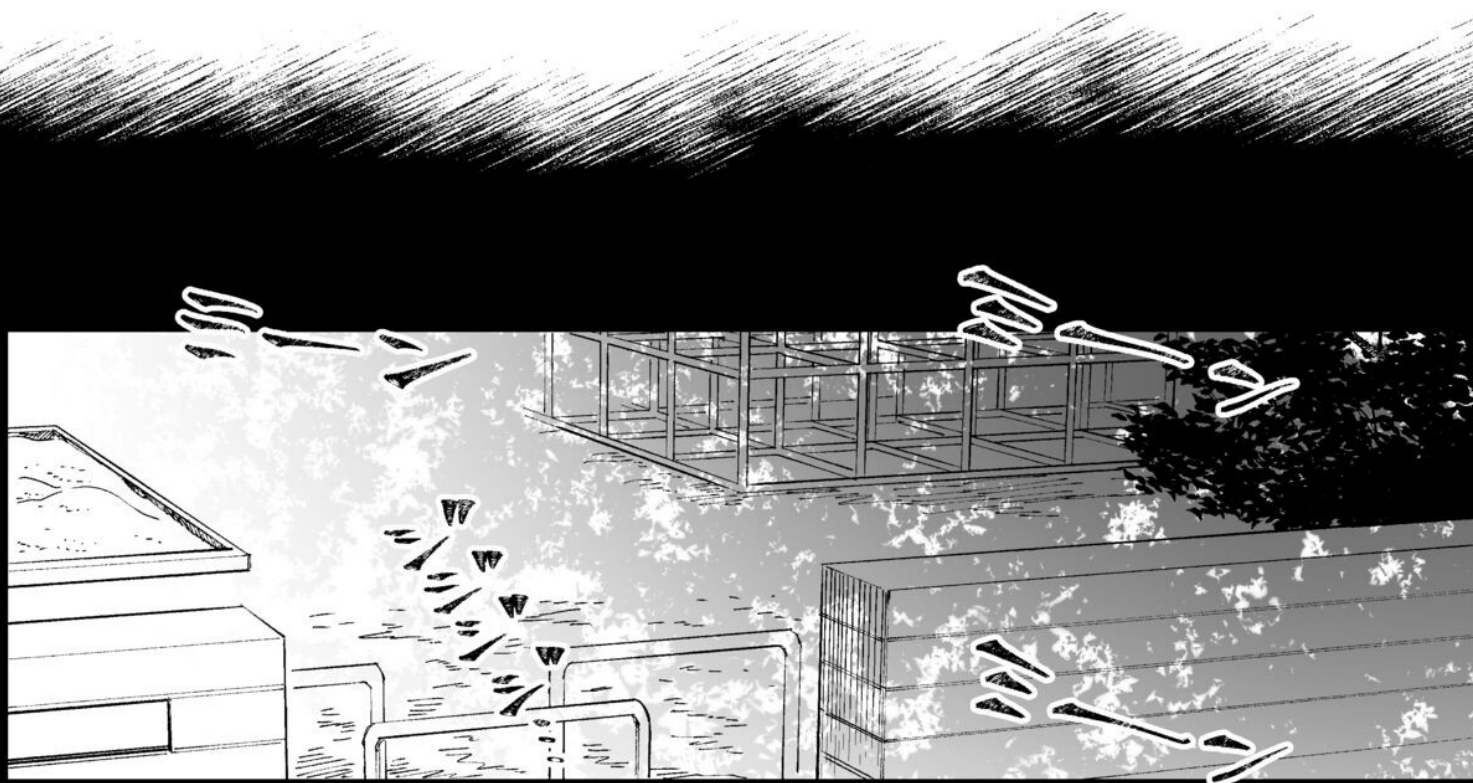






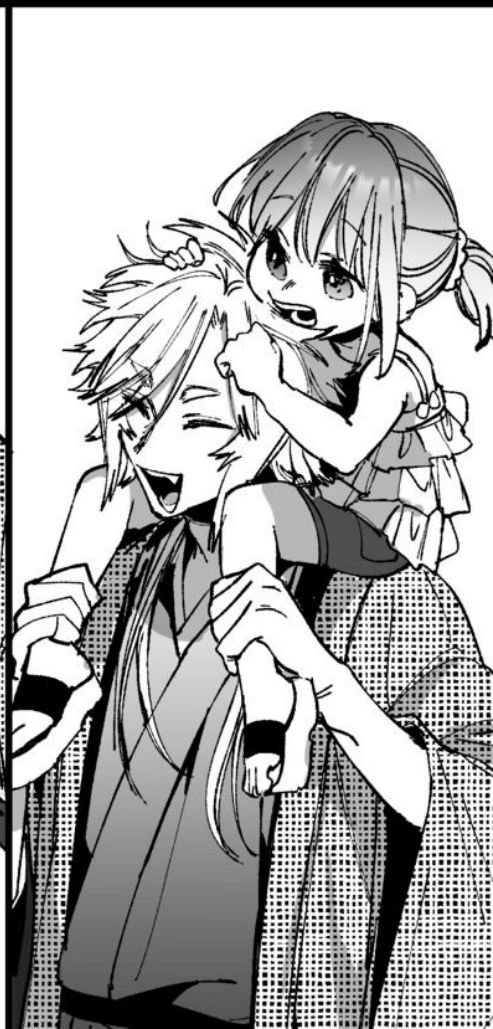
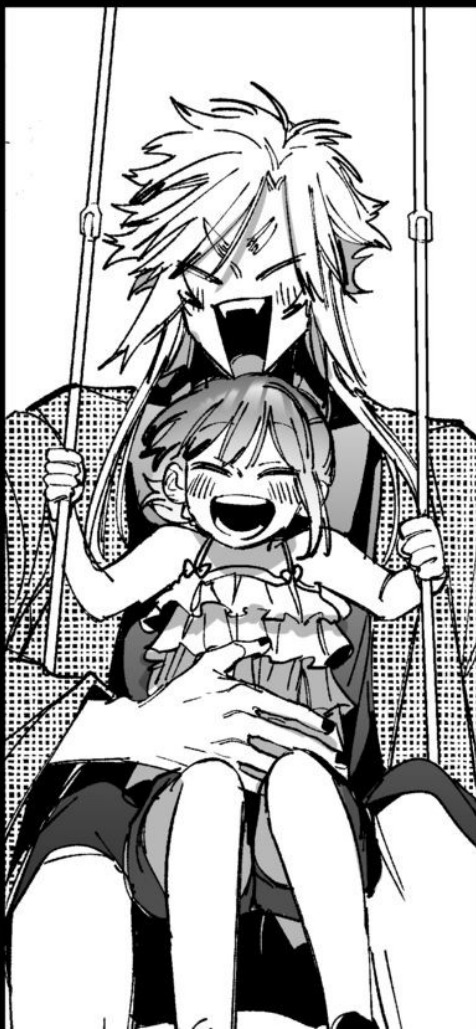
















ん！…

千代ちゃんは  
オトンとオカンに  
早く帰って  
欲しいって  
思わへんの？



なあ  
なあ



しごとが  
だいじな時期  
なんだって

がまん  
出来るから  
へいき…



…



でも千代ちゃんが  
ずっとボクと  
遊びたいって  
言ってくれるなら



あんな、  
ボクが千代ちゃんと  
遊んであげられるのは  
今日だけなんよ

えっ

そういう  
決まりが  
あんねん





これでもう  
ボクと千代ちゃんの  
縁は繋がったから



忘れられるのは  
寂しいけどなあ

またその時が  
来たら会えるわ

……？

天くん……？

ボクがまたを  
願うなんて…  
生まれて  
初めてやなあ

くすくす



じゃあ

おやすみ  
千代ちゃん







千代ちゃんの  
体がこっちに  
馴染んだら



なのに  
なんであの時と  
同じまま……?



ここボクん家の  
神社なんよ

昔一緒に  
遊んでくれた  
お兄さん



約束通り  
ずっと  
一緒に居れる



だからそれまで  
ちょーっと  
大人しくしててな?



千代ちゃんの  
これからは  
寂しきなんて  
欠片もないで

神様が  
傍にいたら  
なーんも怖いこと  
あらへんし



神様...!?





そーいう目  
ぐっちゃぐちゃに  
したくなるわ

ホントは  
あの時無理矢理  
攫っても  
良かったんよ

でも  
千代ちゃん  
まだ子供  
やったし





ボクとの縁を  
結んで  
離してあげた  
んやけど



そのお陰で  
結構えらい目に  
あったみたいで  
ごめんなあ

変なのに  
憑りつかれ  
まくっとるし

離して、

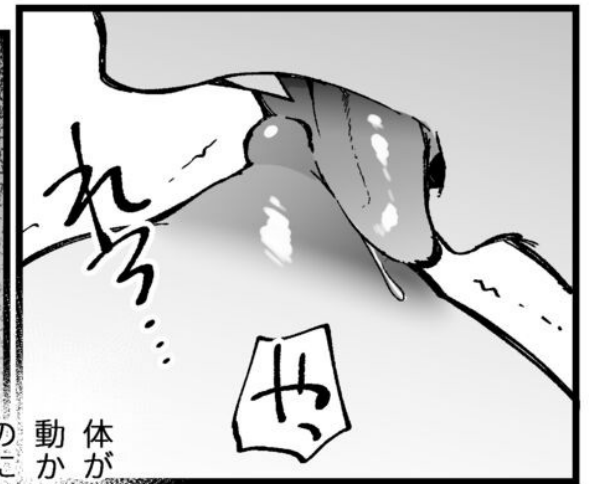
あ...っ

あっ

私がそういう  
体質になったのは

天くんの  
せい...?







ぐち…♡

千代ちゃんのおまんこも

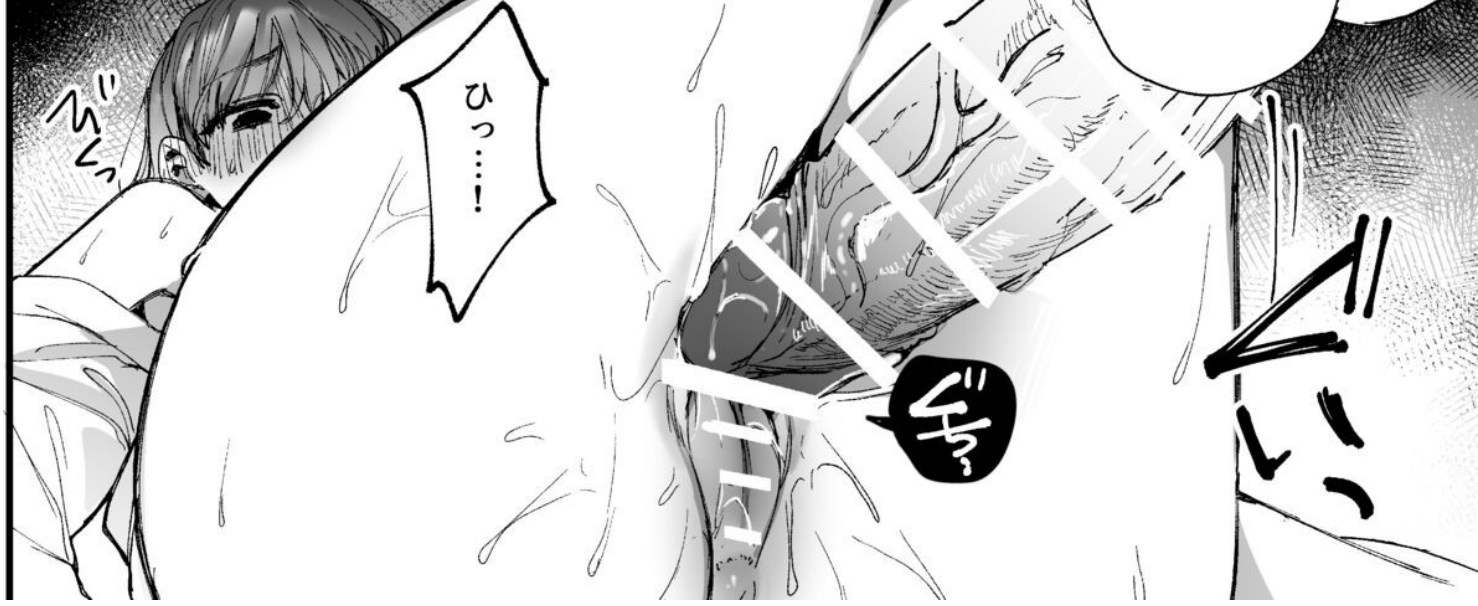
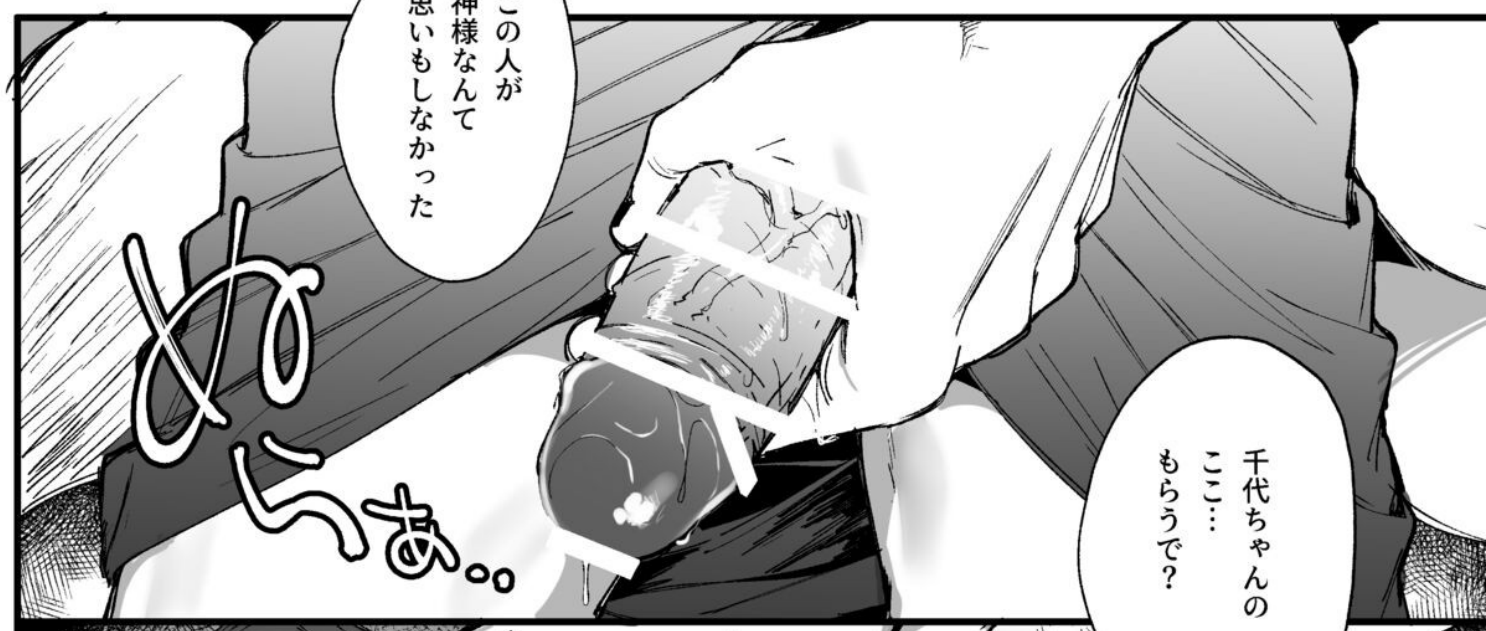
めっちゃ濡れとるし…♡

大丈夫  
大丈夫

えっちなこと  
大好きな  
千代ちゃんも  
ちゃんと好きやで











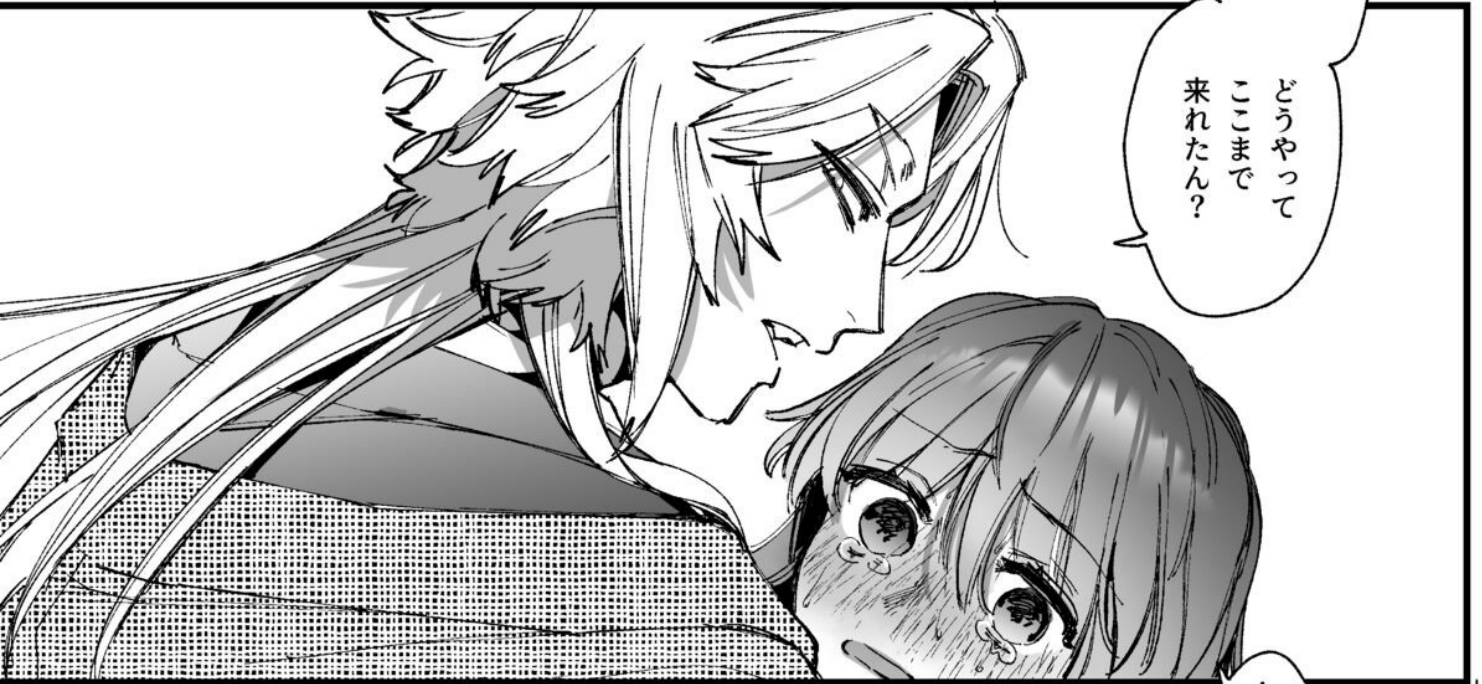






…驚いたわ

どうやって  
ここまで  
来れたん？



……

蓮くん…



昼間あんだけ  
狐くせー臭いを  
ばらまいといて

しらじら  
しいんだよ



……ああ  
成程

こっちこそ  
どーりで  
嫌な臭いやと  
思ってたわ



仮にも  
神が

こんな  
どこにでもいる  
人間一人に  
大層なこったな

えい？  
頭かったい  
んやなあキミ



今時神と人間が  
くつつくなんて  
よくある話やし





誰より千代ちゃんに  
執着してるキミに  
言われても  
なーんも響かんけどな



…千代から  
離れろや



ボクたちは  
もう魂で  
繋がってるんやで

効くかい  
そんなモン

諦めやあ



当たり前だる



キミに  
殺せるん？  
神を



…というか  
勘違いしてる  
みたいやけど  
ボクのせい  
だけやないで？



酷いこと  
言うやん…

シヨック  
やわあ…

イラ



どうせテメーの  
せいで千代に  
悪霊が憑くように  
なったんだろ？

じゃあ  
その根源を  
断たねえとな

えー





千代ちゃんに  
わっるいのが  
纏わりついてんのは  
キミにも原因が  
あるんよ

…は？

おかしいと  
思わなかったん？



例えば

最近やけに  
数が増えたとか

なんか最近  
やけに多いな



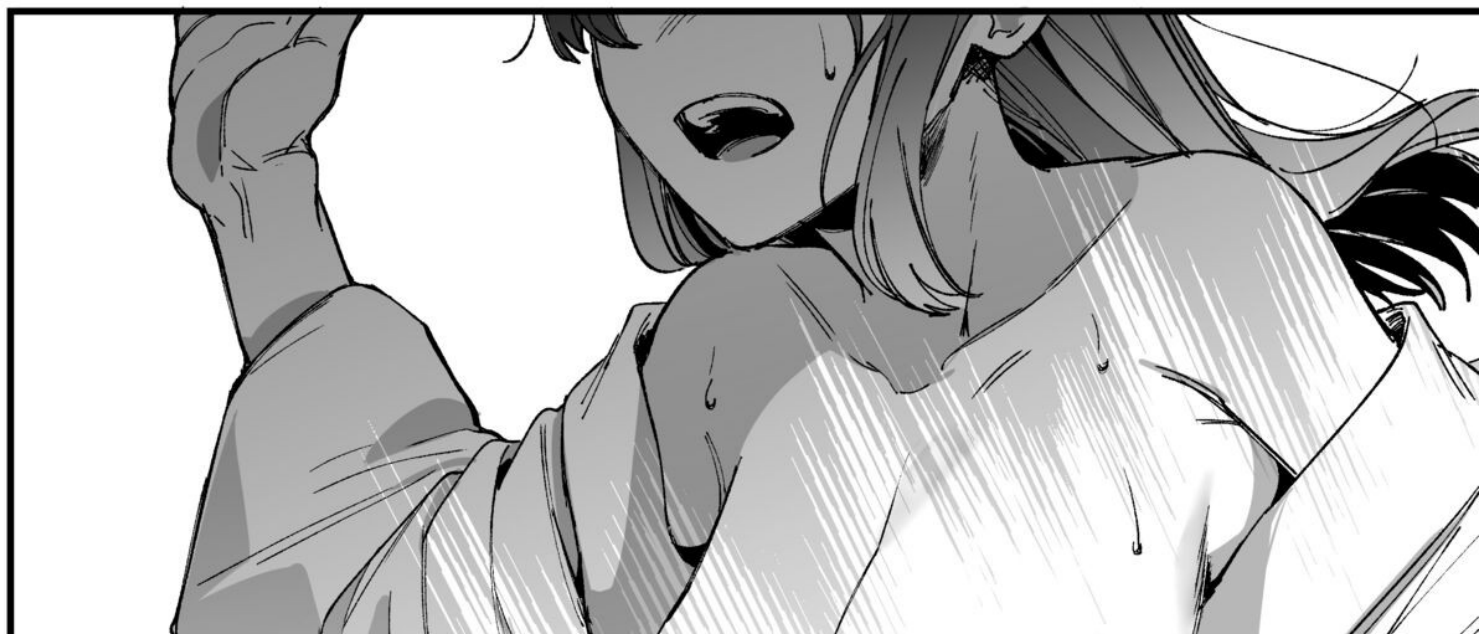
心当たり  
あるやろ？



キミみたいな  
化け物みたいな力を  
持った人間の傍にいて

まともで  
居られるわけ  
ないやん











それにしても  
ようボクの術  
糺りながら  
動けたなあ







ボクは千代ちゃんが  
手に入るなら  
いつでもええんよ



千代ちゃんも  
思い出した  
ばっかで混乱  
してるやろし

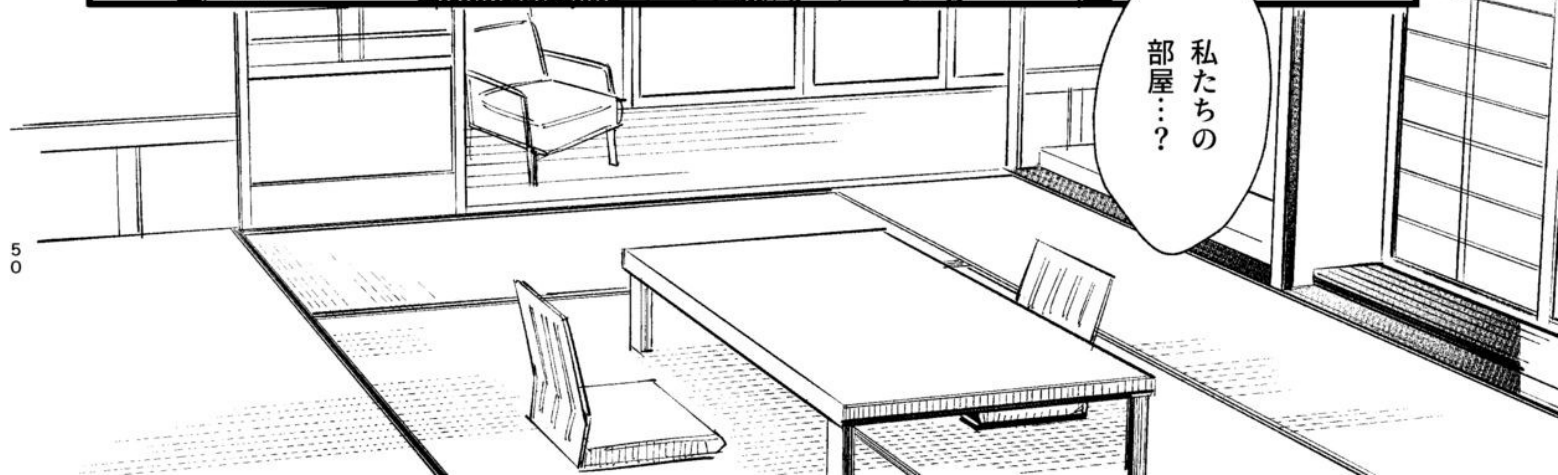
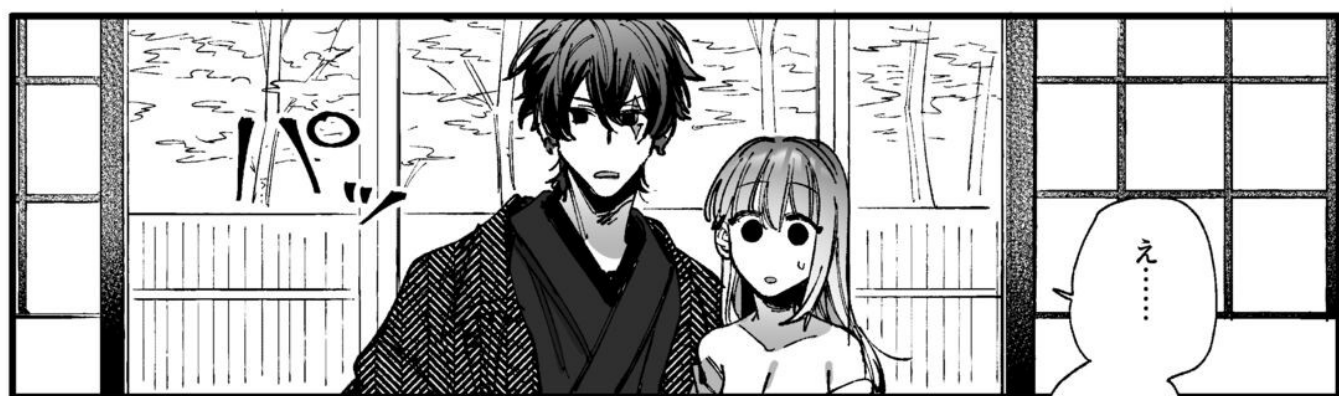
ズッ

体が  
動く...



おっ  
おっ  
おっ

死んだ  
後でも♡







あいつと  
会っても  
話さなっ  
て

どうせまた  
気許した  
んだろ？



蓮く…

なあ  
千代

俺は  
言ったよなあ？



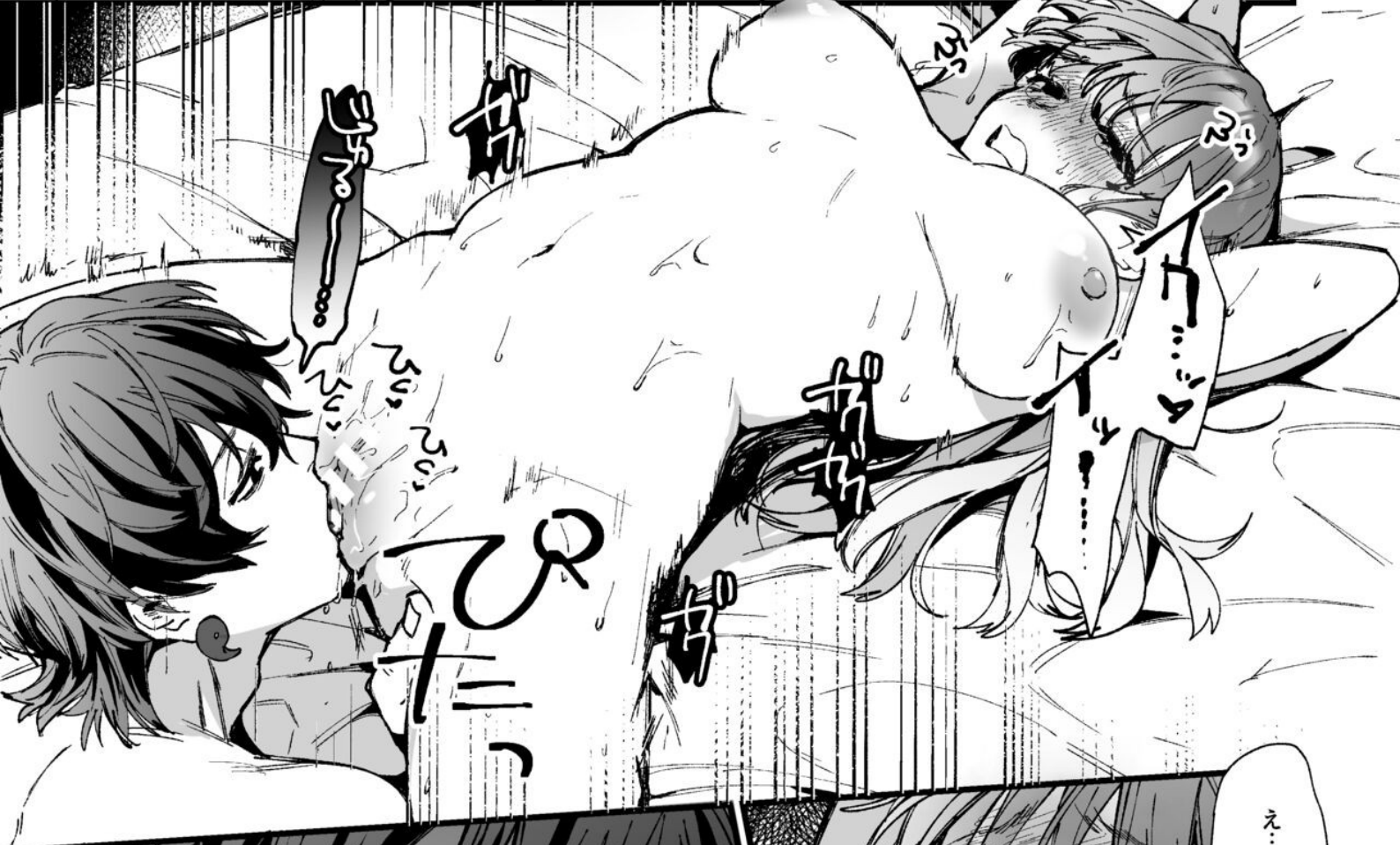
あいつに  
されたこと

全部  
教えろ





















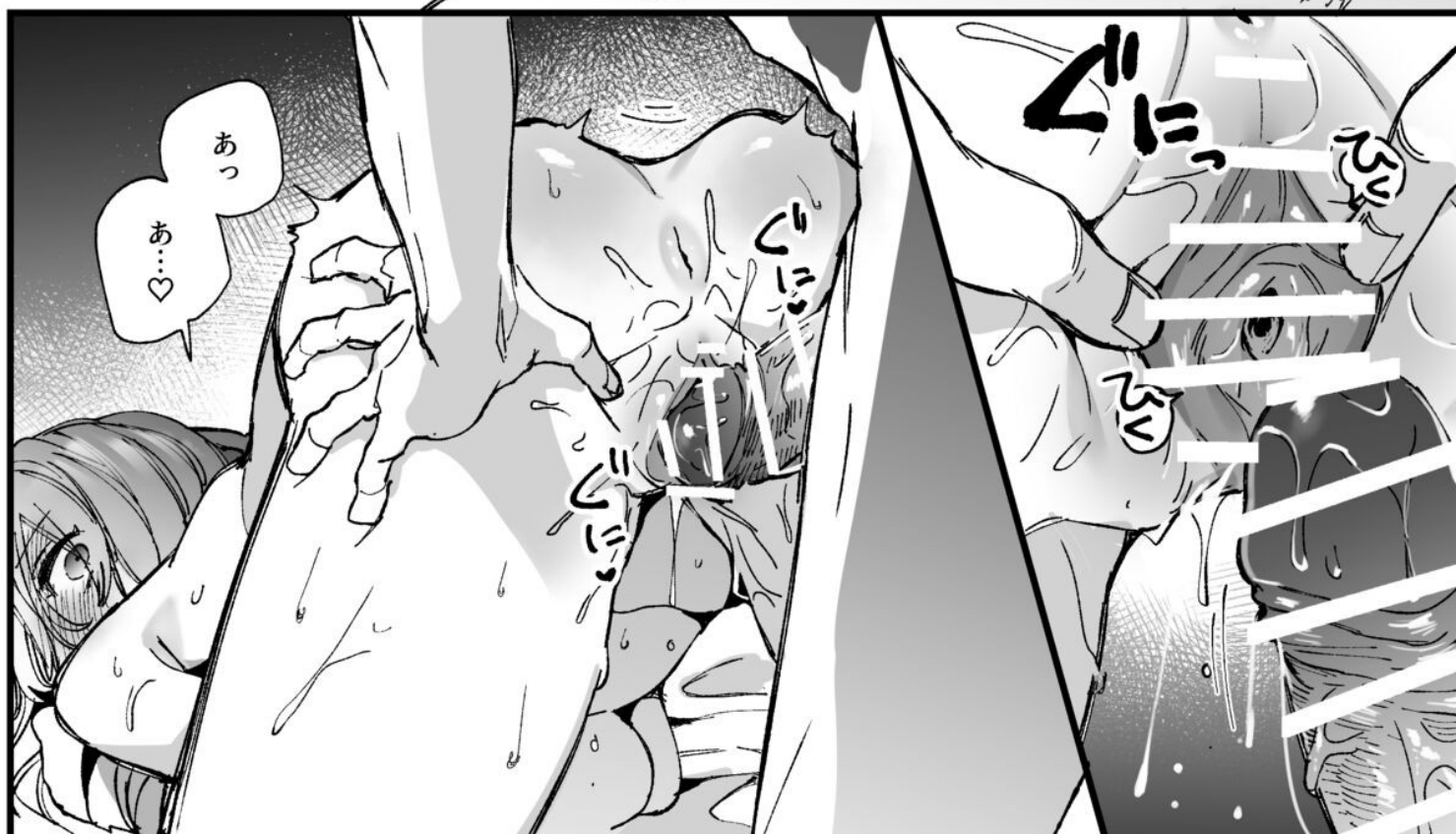






千代が泣いて  
謝ったって  
絶対やめねえ

ハメ殺してやる





















あし、  
出る...

































千代がとんだけ  
俺を捨てたいって  
思ったって

死んでも  
離して  
やらねえから

いっそ  
孕んじまえ







すっげえ  
エロい顔

こんな顔  
俺以外誰にも  
見せらんねえな？

ハハ  
いいな...

れんくっ  
れんくんッ







もうとっくに

私は蓮くんが  
いないと  
生きていけないのに

うわ

ザッザッザッ

ザッザッザッ

ザッザッザッ

ザッザッザッ

ザッザッザッ

ザッザッザッ

ザッ

ザッザッザッ

ザッザッザッ

ザッザッザッ

ザッ

ザッザッザッ





もっと早くに  
お前に会えてたらって  
一番思ってるのは

俺の方だ

頼むから

俺をこんなに  
弱くした  
責任取れよ



次ページから  
おまけです





### 伊藤千代

めんどうなものに好かれまくる人生。  
小さい頃から親が忙しく  
ずっと一人で遊んでいた。  
故に大抵のことは一人で出来る。  
二人推奨の家具の組み立ても余裕。  
家族の縁が薄いため、憧れも人一倍強い。  
蓮に出会ってから人に甘えられるようになった。  
特に欲もなく生きてきたが、  
初めて欲しいって思った存在が蓮。  
蓮となら一緒に死んでもいいと思っている。  
二人で楽しく生きられたらもううれしい。

好きな食べ物は炭水化物。  
おもちや飲み物。

### 桐生院蓮

不必要なくらい強い力を持って生まれた祓い屋。  
嫌いなものランキング二位三位はそれぞれ遠出と夏。  
一位は実家。  
前回を経てふと自分も千代のことを  
なにも知らない気がすんな…と思っていた。  
今までの人生で何かに固執したことがない。  
終わる時は絶対に来るだろ的な考えだったが、  
千代と出会ってから変わった。  
心の底から千代に依存している自分に苛立ちつつ、  
ぬるま湯から出るつもりもさらさらない。  
千代に一人で死ねると思うなよと軽口(本心)  
を叩いているが、  
もし実際にその時が来たら  
千代を守って一人で死ぬ。

好きな食べ物は肉。





天

狐の神様。

他の神様よりは話がわかるタイプ。

でもやっぱり神様なのでどこかおかしい。

退屈を紛らわすために人間と関わるのを好む。

幼少期の千代がずっと一人でいるのを眺めていた。

気まぐれで話しかけた結果、いじらしい千代の姿を見て気にいる。

神様の決まりとして、生きてる人間に関わった時は

記憶を消すか殺す、もしくは自分の神域に隠さないといけなかったが、

まだ小さい千代のために記憶を消して別れる方を選ぶ。

千代の魂さえ手に入るなら別に好きに生きてもええで～なスタンス。

死んだ後は永遠に一緒。

長く生きているため、自分の感情に疎い。

蓮に対して感じている苛立ちに気付いていない。

好きな食べ物はおいなりさんに見せかけてあんみつ。

学生時代 れんくん





-----  
梅ねぎ大明神

umenegiman@gmail.com

本作品は実在する人物、  
団体とは一切関係ございません。  
無断転載、複写、改変は禁止致します。

この漫画を当サークルに許可なくインターネット上に  
アップロードはする行為は犯罪です。(著作権法23条)  
10年以下の懲役もしくは1000万円以下の罰金、  
またはその両方が同時に科せられます。(著作権法第119条第1項)  
発見した場合は、すぐに法的措置をとります。

All rights reserved. Unauthorized duplication  
is violation of applicable laws.

禁止私自轉載、加工

表紙ロゴ

UCHUgDesign / 日野かじお様